

大人のためのお話会・秋の夜語り



今回で 8 回目となる大人のためのお話会・秋の夜語り。11 月 13 日に開催し、32 人の参加者にストーリーテリングやわらべうたを楽しんでいただきました。プログラムは、「秋の食べ物」と「いい夫婦の日」をテーマに、日本や外国の昔話や民話を中心に、むなかた語りの会のメンバーが 8 つのお話を語りました。参加者からは、「本で読む物語と違って、人が語ることでお話が生き生きと表現されて引き込まれるようでした。」「お話の雰囲気がよく伝わるような話ぶりに引き込まれ、楽しく聞かせていただきました。お話ののっている本を紹介して下さったことは参考になりました。」「夫婦の日にちなんだお話、どれもほのぼのしていてよかったです。月の砂漠をさばさばと・・・口ずさみそうです。」「とてもやさしい語り口に、つい引き込まれました。私もストーリーテリング講座を受けていますので、とても勉強になりました。」など、たくさんの感想をいただきました。

わらべうた「いもにんじん」

小判の虫ぼし(日本) 「瓜子姫とあまのじゃく 日本のむかし話 3」講談社
アナンシと五(ジャマイカ) 「子どもに聞かせる世界の民話」実業之日本社
かしこいグレーテル(グリム) 「子どもに語るグリムの昔話 5」こぐま社
さばのみそ煮(北村薫作) 「月の砂漠をさばさばと」新潮社
あとかくしの雪(日本) 「行事むかしむかし」佼成出版社
一足の靴(グリバリ作) 「木曜日はあそびの日」岩波書店
ふしぎなオルガン(レアンダー作) 「ふしぎなオルガン」岩波書店
つるかめ(福島県) 「かたれやまんば第 1 集」藤田浩子の語りを聞く会

わらべうた「いもにんじん」は、柳川に伝わる毬つきうたです。

いも・にんじん・さかな・しいたけ・ごぼう・・・

うたってみると、懐かしい気持ちになります。



ストーリーテリングで語ったお話が載っている本を紹介します。

語りを聞いて、後から自分で読んでみたい人に好評です。